

北海道の野鳥糞便から高病原性 鳥インフルエンザウイルスが検出されました！

～今シーズン野鳥国内2例目～

- すでにウイルスに感染した渡り鳥が国内に飛来しています。
- 消石灰散布・入場時の消毒等、予防対策を徹底してください。

高病原性鳥インフルエンザ発生状況（R6年シーズン）

野鳥 1 例目

10月4日：北海道乙部町 ハヤブサ

野鳥 2 例目

10月15日：北海道別海町 カモ類糞便

- ① 衛生管理区域に立ち入る人・車両等の消毒、区域専用の衣服及び靴の設置
- ② 家きん舎に立ち入る人等の消毒、家きん舎ごとの専用の靴の設置
- ③ 野生動物の侵入防止のためのネット等の設置・点検及び修繕
- ④ 家きん舎周囲、飲水の消毒

予防対策

死亡羽数が増える等の異状が見られたら、すぐに下記まで連絡して下さい。

京都府南丹家畜保健衛生所TEL：0771-42-3308（夜間・休日も転送機能で連絡可能）